



# 第9回中野立志館高校同窓会総会



## 中野高校ギター・マンドリンクラブOB・OG会

「中野高校ギター・マンドリンクラブOB・OG会」は、須高以北では唯一のギターマンドリンオーケストラ。2007年の結成から、ボランティアなどで80回ほど演奏しています。メンバーの皆さんから、結成のきっかけや活動についてお話を聞きました。

### 中

野高校と中野実業高校が統合する際「中野高校」としては最後となる記念式典で

演奏してほしいと、同窓会から依頼がありました。OB・OGに声が掛かったものの、皆それぞれ仕事や家庭に忙しく、卒業してから楽器を手に入れない人が大半。「もう弾けないだろうけど、みんなに会うだけでも」と、しまいこんであった楽器を持って集まりました。学年も違い、お互いに面識がないメンバーも多かった中、合わせた曲目は、入部した1年生が必ず最初に練習する曲『草原』。みんなが知っているこの曲の演奏を通じて、共通の思い出がよみがえりました。これがきっかけで「またやってみよう」と、式典に向けて会を結成。そこから現在も活動が続いています。

メンバーは、昭和40年代後半から50年代にクラブに在籍した世代が中心。この頃の中野高校ではギター・マンドリンが非常に盛んで、70人の部員がいたこともありました。毎年、大阪で開

催される「全国高等学校ギター・マンドリン音楽フェスティバル」出場の常連で、日本一である「最優秀賞」に輝いた強豪校でした。

当時はプレッシャーの中、賞を取るという責任感で、演奏していたこともありました。しかし、今は音楽を楽しむこと、聴く人の立場になって演奏することの大切さに気付いて「明るく楽しく無理をせず」をモットーに、自然体で活動しています。

ギター・マンドリンの音色は、癒し系の曲が多く、幅広い世代に聴いていただきたいと思っています。ぜひこの音色に触れてみてください。

1\_顧問の丸山哲矢先生。現在は11月11日(日)に開催される、えびす講での演奏会「10周年記念コンサート」に向け練習中。  
2\_練習風景。会場は優しい音色に包まれる。

練習日時  
毎週月曜日/午後7時~9時  
第1、第4日曜日、第2、第3土曜日/午後1時~4時  
(いずれも中央公民館にて)

◆クラブへの参加を希望する人や出張演奏を希望される人は、上記の日時にお訪ねください。





File: 5



中野市の色々な魅力、県外で発信しています！

今月の協力隊員 赤松 頼子 隊員  
問 農政課 ☎ 22-2111 (内線 250)



1



2

県外での PR 予定

- 横浜北仲マルシェ  
9月15日(土)、16日(日)
- 信州なかのフェア in 横浜  
10月4日(休)

### 「銀座 NAGANO で PR !」

長野県のアンテナショップ、「銀座 NAGANO」で信州なかのの PR をしてきました。PR の内容は、旬のモモ（なつっこ・あかつき）を中心にジャガイモやキュウリ、信州の伝統野菜ぼたんこしょうなどの販売や信州黄金シャモの試食など。

県外での PR 活動は初めてでしたが、新鮮な果物や野菜はもちろん、それらを通じてたくさんのお客様が「信州なかの」に興味を持ってくださり、非常にうれしく思いました。

今後も県外での PR に参加していく予定です。多くの人に中野市の豊かな食材に興味を持ってもらい、足を運んでもらうきっかけになれるよう頑張ります！

- 1\_ 銀座 NAGANO にて、協力隊の仲間と一緒に農産物を販売。たくさんのお客さんが来てくれました。
- 2\_ 中野のモモは銀座でも人気。



## 池田市長の vol.56 わくわくレポート

### 地域公共交通の利活用

北陸新幹線の金沢延伸から3年が経過し、主要都市との時間距離も短縮され、私たちの暮らしが便利になった反面、地域では高齢化の進展や人口減少などから、身近な交通手段確保へのニーズは高まっている。

暮らしを支える、買い物、通院といった日常生活不便は街中にも広がりつつある。こうした中で、行政としても地域交通の維持確保に向けてこれまでさまざま取り組んできているが、さらに時代の変化に合わせて創意工夫を凝らし、方策を探っていかなければならないと思う。

ICTの発展により、自動走行システムなど新たな交通システムにも大いに期待するところであるが、一朝一夕にこうした技術革新が地域に広まることはまだまだ時間のかかることであり、きめ



▲ふれあいバス 市役所停留所

細かに地域ごとの課題を整理し、より利便性の高い方策を探求するといった地道な取り組みが大切である。

中野市では、バス路線の維持確保のための財政措置や、ふれあいバスなど交通手段の維持確保に努めているが、こうした公共交通は利用していただいてこそ、さらに充実の機会も増すものであり、利用促進策も考える中で、多くの市民の皆さんの利活用をお願いしたい。

いずれにしても変化激しい地域環境のもと、財政状況が厳しい中、よりよい地域交通を目指していくことは、自治体経営において重要な課題である。